

● セミナー概要

1月24日のセミナーでは、「スタンフォード大学・シリコンバレーでのヘルスケアベンチャーの起こし方と人材育成」についてご講演頂きます。医療デバイス・ヘルスケアテクノロジーベンチャーの事例のご紹介や、AI、ロボティクス、ブロックチェーンを用いた医療の未来についても、ご講演でお話頂くこととなっていますので、奮ってご参加下さい。

● ワークショップ概要

1月25日のワークショップでは、講師の前田氏がスタンフォード大学で学んでこられた「バイオデザインプログラム」を体験できるワークショップを開催致します。スタンフォード大学の「バイオデザインプログラム」は、医療機器に特化して、医療現場のニーズを把握し、具体的な医療機器の開発を行う手法を全世界に提供しており、今回のセミナーは、その内容について学ぶ貴重な機会となります。

エキスポネンシャルなテクノロジーの進化は現在に始まったものではなく、そのきっかけとなるパラダイムシフトに乗り遅れたコミュニティは淘汰されてきた事実があります。日本の医療現場は、低価格でアクセス良好な医療の提供という目的には成功してきた一方で、変革のスピードが遅れ、医療テクノロジーの創出に遅れを取ってきました。そこで、今回のワークショップでは、医療テクノロジーの創出をニーズとシーズの両面から考察する内容を学んで頂きます。

ワークショップ前半は、「ニーズ分析の手法」を学ぶ内容になっています。手段はテクノロジーで入れ替わるものであり、大切なのは目的(ニーズ)が何かです。スタンフォード大学で始まった「バイオデザイン」は医療テクノロジーの開発に際して、手段でなく目的を明確にするニーズ分析から開発を始めるという手法で多くの大学発医療テクノロジーベンチャーを産み出して来ました。ワークショップ前半では、その「ニーズ分析」の手法を習得して頂きます。ワークショップ後半は、テクノロジーへの理解を起点として、未来の医療を想像するハッカソンになっています。手段(シーズ)の方に目を向けると、バイオデザインから産み出される医療テクノロジーが用いる手段も、伝統的な医療機器からAI、ロボティクス、デジタルヘルスといったものへとシフトしてきています。後半はこの様なテクノロジーが医療現場に何をもたらすのかについて、未来を洞察するワークショップを用意しています。皆様、奮ってご参加ください。

<参考書籍>

「BIODESIGN バイオデザイン日本語版」

https://www.amazon.co.jp/dp/4840813191/ref=cm_sw_em_r_mt_dp_U_zmbfEbQQPV3AC

※当日は資料を配布致しますので、書籍の準備は必要ありません。

● 講師プロフィール

前田 祐二郎氏 <http://www.premopartners.com>

プレモパートナー株式会社 取締役パートナー／東京大学医学部附属病院 トランスレーショナルリサーチセンター 特任助教／アイリス株式会社 ディレクター／一般社団法人次世代医療機器開発コンソーシアム 代表理事
<ご略歴>

東京大学大学院修了(医学博士)。九州大学歯学部卒業(歯科医師)。

東京大学医学部附属病院・顎口腔外科および救急部にて臨床診療に従事。

2013年には大塚製薬株式会社医薬品事業企画部で海外事業に従事。

2014年に医療機器発明起業人材育成プログラムであるスタンフォード大学バイオデザインプログラムGlobal Faculty研修を修了し、東京大学でバイオデザインの導入計画を推進、並行して国内医療シード期のベンチャー投資を行うVCで勤務。

2015年にジャパン・バイオデザインを設立、以降、共同ディレクターを努めている。

2018年よりAI医療機器開発ベンチャーであるアイリス株式会社ディレクターに就任。

2019年にはプレモパートナー株式会社を共同創業、医療機器新規事業コンサルティング事業を行う。

2015年 厚生労働省国際保健に関する厚生労働大臣懇談会若手ワーキンググループ

2017年～AMED(経済産業省)「医療機器開発支援ネットワーク」伴走コンサルタント

早稲田大学ビジネススクール非常勤講師/慶應義塾 Health X メンターを務める。

参加申込

右記QRコードまたは下記URLより参加フォームにアクセスし、必要事項をご記入の上、お申込みください。

URL : <https://forms.gle/6rgmwmGJpfKddzuZA>

お問い合わせ

長崎大学FFGアントレプレナーシップセンター 担当：岡・山下・上條

☎095-800-4121 ✉ ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

